

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場会社名 株式会社 エコミック  
 コード番号 3802 URL <http://www.ecomic.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 熊谷 浩二  
 (氏名) 荒谷 努

上場取引所 札  
 TEL 011-742-6295

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	115	—	△4	—	△4	—	△3	—
25年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △2百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△866.33	—
25年3月期第1四半期	—	—

(注) 26年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、25年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	425	397	93.4	100,878.27
25年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 397百万円 25年3月期 一百万円

(注) 26年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、25年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600	—	30	—	30	—	16	—	4,062.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) 栄光信息技术(青島)有限公司、除外 1社 (社名)  
 (注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	3,938 株	25年3月期	3,938 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	3,938 株	25年3月期1Q	3,403 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や株高に伴う個人消費増に牽引され持ち直しの傾向にあります。また、海外景気の下振れリスクはあるものの、各種政策効果、企業収益の改善により今後も緩やかな回復が続くと見られます。

当業界におきましては、このような状況下、依然として企業の効率化、省力化への動向は継続しており、今後、事業再構築の手段として、または災害等のリスク回避の手段としてアウトソーシングのニーズはより一層高まっていくと考えております。

そこで当社グループ（当社及び連結子会社）は、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業内からの個人情報漏洩への対策等企業リスクの観点から、給与計算アウトソーシングの提案を行ってまいりました。同時に給与計算に付随するシステム開発という付加価値サービスの提案を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績については、売上高は115,953千円、営業損失は4,785千円、経常損失は4,503千円、四半期純損失につきましては、3,411千円となりました。

当社グループはパイロール事業の単一セグメントであるため、セグメント区分を行っておりません。この単一セグメントであるパイロール事業の業績は次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間については、前事業年度に引き続き既存顧客との関係強化を行うとともに、主に首都圏・関西圏での積極的な営業活動に取り組んでまいりました。また、前事業年度において売上原価増加の原因となった給与計算業務及び住民税・年末調整業務の作業工程の改善に注力いたしました。その結果、パイロール事業の売上高は115,953千円、売上総利益は37,367千円となりました。

なお、当社は平成25年5月、日本での現在及び将来のアウトソーシングサービスの事務作業量拡大に対応すること及び中国を将来的に新たなマーケットとして開拓することを目的として、中国山東省青島市に100%子会社の栄光信息技术（青島）有限公司を設立いたしました。

また、当第1四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は352,779千円となりました。主な内訳は現金及び預金277,117千円、売掛金69,787千円、繰延税金資産2,045千円であります。固定資産は72,590千円となりました。主な内訳は有形固定資産20,148千円、無形固定資産40,551千円であります。

この結果、総資産は425,369千円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は28,111千円となりました。内訳は買掛金5,833千円、未払金5,279千円、その他の流動負債16,397千円であります。

この結果、負債合計は28,111千円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は397,258千円となりました。内訳は資本金243,120千円、資本剰余金78,096千円、利益剰余金75,541千円であります。

この結果、自己資本比率は93.4%となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間より連結決算に移行しております。

連結業績予想につきましては、本日「連結決算の開始及び連結業績予想に関するお知らせ」により、平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）通期の業績予想を発表しております。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、栄光信息技术（青島）有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
 (平成25年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	277,117
売掛金	69,787
繰延税金資産	2,045
その他	4,494
貸倒引当金	△666
流動資産合計	352,779
固定資産	
有形固定資産	
工具、器具及び備品（純額）	16,437
その他（純額）	3,710
有形固定資産合計	20,148
無形固定資産	
ソフトウェア	40,551
無形固定資産合計	40,551
投資その他の資産	
投資有価証券	5,895
その他	5,995
投資その他の資産合計	11,890
固定資産合計	72,590
資産合計	425,369
負債の部	
流動負債	
買掛金	5,833
未払金	5,279
未払法人税等	600
その他	16,397
流動負債合計	28,111
負債合計	28,111

（単位：千円）

当第1四半期連結会計期間  
（平成25年6月30日）

純資産の部	
株主資本	
資本金	243,120
資本剰余金	78,096
利益剰余金	75,541
株主資本合計	396,758
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△5
為替換算調整勘定	505
その他の包括利益累計額合計	500
純資産合計	397,258
負債純資産合計	425,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	115,953
売上原価	78,585
売上総利益	37,367
販売費及び一般管理費	42,153
営業損失(△)	△4,785
営業外収益	
受取利息	43
業務受託手数料	77
その他	161
営業外収益合計	282
経常損失(△)	△4,503
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,503
法人税等	△1,091
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,411
四半期純損失(△)	△3,411



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

		当第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）		△3,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△9
為替換算調整勘定		505
その他の包括利益合計		496
四半期包括利益		△2,915
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益		△2,915
少数株主に係る四半期包括利益		—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。